

Press Release

発信元：ECO 通 STATION (エコ ツウ ステーション)

〒604-8106 京都市中京区堺町通御池下ル丸木材木町 684
TEL075-241-1518 FAX075-241-2133

この資料はご自由にどうぞ 平成 21 年 11 月発信

ジテ通(自転車通勤)・ラン通(ランニング通勤)などエコ通勤に最適

遊休資産再生事業と ECO 促進のコラボレーション

賃貸物件の遊休資産を公益性のある社会的活動への転用によって再生する事に取組む特定非営利活動法人フリーダム(京都市中京区)は、今まで住宅系の再生プランを京都に住まう外国人の生活支援と絡めた事業を手掛けてきたが、同団体初となる街中の商業ビルの再生プロジェクトを開始した。ECO や健康の促進といった社会的活動において、遊休資産の再生を図ろうというもの。今回のプロジェクトは、テナントが入らない物件オーナーへの一石二鳥の提案として、今話題の ECO スタイル通勤者に対して、レンタルロッカーやシャワールーム、室内駐輪場を提供する事業をスタートしたものである。

昨今の不況のおり、街中といえども、商業ビルの空きが目立っています。

当団体がスタートさせた事業は、低投資、低管理コストで、空きビルを再生する提案で、特に敬遠されがちな、築年数が古い物件や、間口が狭い、広さが中途半端など、テナントの確保が困難になっている物件に対して、空室をかかえる家主から物件を借り受け、シャワーブースやロッカーなど最低限の設備を整えて、トランクルームサービスと同様に賃貸借契約により、駐輪場とロッカーをレンタルするものです。

会員制施設のように至れり尽くせりのサービスはなく、一般の駐車場やトランクルームを借りるのと同じように、あるていど自己責任においてご利用いただく事で、管理コストを軽減しています。

京都は、バイコロジー運動発祥の地ともいわれるほど、昔からエコ活動が盛んな地で、昨今の健康ブーム ECO への意識向上に伴い、自動車や交通機関を使った通勤から、自転車やウォーキング・ランニングなどで通勤を行うモーダルシフトが進んでいます。昨年 9 月には国土交通省がエコ通勤の指針を示すポータルサイトを立ち上げ、また今年度では、京都市役所が自転車通勤手当の支給を開始、民間企業でもエコ通勤へのモーダルシフトの取り組みが加速しています。そこで浮上したのが、シャワールームや更衣室の問題なのです。欧米では当たり前となったバイクステーションも日本では数少なく、今後は間違いなく増加するでしょう。エコを楽しむ先進都市京都にあるべくして出来た施設だと思えます。

運営会社の概要

1. 名称：特定非営利活動法人フリーダム
2. 理事長：今居英和
3. 所在地：京都市中京区東堀川通丸太町下ル七町目 10
カストルム二条 1F
4. 設立：2004 年 8 月 23 日
5. 業務内容：
京都で生活する外国人向けに生活支援情報発信
国際交流ハウスの運営
賃貸オーナーに向けた健全な賃貸の啓蒙や遊休資産の再生
賃貸物件を一室単位で借上げ一時滞在の外国人に転貸する
賃貸不動産管理業務など

この件に関するお問合せ先

ECO 通 STATION 担当 今居

TEL : 075-241-1518 E メール : eco@freedom.or.jp

<http://eco.freedom.or.jp/>